

次期計画検討における重点テーマ(案)について

1 札幌市まちづくり戦略ビジョンにおける方向性・取組

ビジョン編（H25.2）		
基本目標：資源やエネルギーを有効活用するまちにします		
将来のまちの姿	実現に向けて私たちが取り組むこと	
ごみの減量・リサイクル・再利用が積極的に行われており、 資源循環型の社会 となっています。	市 民	●ごみの減量・分別・リサイクルの実践 ●使い捨て製品の使用抑制
	町内会・NPO等	●集団資源回収の実施など、ごみ減量・リサイクル活動の推進
	企業等	●ごみの減量・分別・リサイクルの実践
	行 政	●ごみの減量・リサイクル・再利用の取組の促進 ●ごみの適正な処理の推進

戦略編（H25.10）
● 市民や事業者の自主的な取組の推進 ➢ 生ごみの堆肥化、ごみ減量行動の推進、事業者の連携による効率的な資源回収の支援、促進
● 資源化の促進 ➢ 焼却灰の資源化、廃棄物系バイオマス資源の有効利用等
● 清掃工場における廃棄物発電や熱利用の推進 ➢ より効率的なエネルギー回収システムの導入による廃棄物発電、熱利用の推進
● 近隣市町村との協力体制の充実

2 国の計画・基本方針における取組・方策

第3次循環型社会形成推進基本計画（H25.5）	廃棄物処理基本方針（H28.1）
国内における取組 ● 「質」にも着目した循環型社会の形成 ➢ 2Rの取組がより進む社会経済システムの構築 ● 低炭素社会、自然共生社会づくりとの統合的取組 ● 地域循環圏の高度化 ● 循環資源・バイオマス資源のエネルギー源への利用 ● 循環産業の育成 ● 廃棄物の適正な処理 ● 各個別法の対応 ● 環境教育等の推進と的確な情報共有・普及啓発	廃棄物の適正処理に関する施策推進の基本事項 ● 国民の役割 ➢ 3Rを意識した購買行動、食品ロス・生ごみ削減 ● 事業者の役割 ➢ 製造・加工・販売等における環境配慮設計 ● 地方公共団体の役割 ➢ 住民の自主的な取組を促進（普及啓発、情報提供、環境教育等） ➢ 適正な中間処理・最終処分の確保 廃棄物の処理施設の整備に関する基本事項 ➢ 効率的な廃棄物系バイオマスの利活用 ➢ 高効率な廃棄物発電、エネルギー回収 ➢ 施設の長寿命化・延命化 非常災害時における処理、施設整備に関する事項 ➢ 施設の強靱化

札幌市まちづくり戦略ビジョン
における重要な視点

複雑・多様化する環境問題に対応するため、市民・企業・地域・行政が一丸となって、みどりの保全・創出やごみの減量・リサイクルなど、環境の保全・創造に関する取組を引き続き進める必要があります。

廃棄物処理施設整備計画
(H25.5)を踏まえた内容



3 重点テーマの検討内容

重点テーマ	検討内容		検討項目（例）
2R	【現 状】	● 事業ごみや容器包装などの資源物は、家庭からの廃棄ごみ量に比べると減量が進んでいない。	● 資源物を含めた家庭ごみや事業ごみの削減 ● リユースの推進（リユースへの取組を促進する環境整備を含む） ● 食品ロス・生ごみ削減 ● 超高齢社会への対応（生前整理、遺品整理による家具、食器類） ● 普及啓発 ● コスト ● 民間事業者との連携
	【課 題】	● 資源物や事業ごみを含めた 減量の推進 ● リサイクルよりも優先すべき 2R（リデュース、リユース）の取組 の推進。特に、 高齢化社会の進行 により生前整理や遺品整理により発生するリユース可能品への対応。 ● 廃棄ごみ量の中で多くを占める生ごみについては、家庭ごみ、事業ごみとも 食品ロスの削減、減量化 の余地あり。	
	【方向性】	● 以上の状況から、資源循環型社会の実現に向けて、2Rの一層の推進を図るための施策について重点的に検討。	
資源化	【現 状】	● ごみ組成調査結果によると、焼却・埋立されている資源物も多い。	● 小型家電の回収と資源化 ● リサイクルの見える化 ● リサイクル品の購入推進 ● 容器包装プラスチック、雑がみの適正排出と資源化 ● 事業ごみの分別・資源化
	【課 題】	● 使用済み小型家電 の、リサイクルへの誘導 ● 容器包装プラスチックや雑がみ の適正な分別排出 ● 資源化可能な 事業ごみ の分別・資源化	
	【方向性】	● 以上の状況から、家庭ごみ・事業ごみともに資源化するための施策について重点的に検討。	

